

「当院におけるバンコマイシンの薬物血中濃度モニタリング評価」についての研究

1. 研究の対象

当院にて 2021 年 8 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までに当院でバンコマイシンを投与した患者さん

2. 研究目的・方法

感染症を治療するバンコマイシンは厳密に用量を設定しないと腎機能障害の有害事象が生じやすいお薬です。それを防ぐために当院ではバンコマイシンの投与量を設定することができるソフト (practical AUC-guided TDM: PAT、以下 PAT) を使用しています。PAT はバンコマイシンの投与量を設定するときの目安になる血中濃度-時間曲線下面積 (以下 AUC) を求めることができます。本研究では PAT を使用してバンコマイシンを投与した患者さんに対して、予測 AUC と実測 AUC の乖離状況の確認や腎機能障害が起きた頻度、およびその要因探索を目的としています。これにより今後の薬物血中濃度モニタリングをより安全に行うことができると考えられます。

研究実施予定期間は、病院長による許可日から 2023 年 12 月 31 日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテ: 年齢、性別、体重、検査値 (WBC、RBC、HB、PLT、Eo、Seg-1、Ly、Mo、Alb、T-Bil、AST、ALT、BUN、sCr、eGFR、BNP、CRP)

対象患者さんの使用薬剤、用量、使用期間、細菌培養、バンコマイシンの血中濃度および AUC

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

研究責任者: 磐田市立総合病院 薬剤部 片桐崇志
静岡県磐田市大久保 512-3 0538-38-5000